

床走行リフト

# Maxi Twin<sup>®</sup>



オープンデザインのMaxi Twinは、患者や入居者の移乗作業の改善に役立ちます。

## ARJO モビリティ・ギャラリー



D



E

© Arjo 2019

D. 両足に体重をかけた立位をとれない。十分なサポートがあれば座位をとれる。

E. 座位を取り続けることは困難。常時、またはときどきベッドで横になっている。座位を保持する椅子が必要。

詳細は、Arjoにお問い合わせください。

- **操作性**  
ツインマスト設計は加重を均等に分散し、持ちやすいハンドル形状がリフトの操作性を向上しています。また、オープンマスト設計は、患者の足がフレームに接触することを予防します。
- **対面操作ができる**  
ツインマスト設計により、移乗中の介助者と患者の距離を近づけ、意思の疎通を容易に図ることができます。
- **正確な移乗**  
スプレッダーバーと一体化した電動ダイナミックポジショニングシステム(PDPS)により、最小限のスイッチ操作で患者の体位を簡単に変更することができます。
- **一人の手で**  
Maxi Twinは、介助者一人で操作できるように設計されています。
- **電子体重計 (オプション)**  
オプションの電子体重計で移乗中に患者の体重を測定できます。

# 主な特長

## 体重計 (オプション)

オプションの電子体重計で移乗しながら体重を効率的に測定することができます。

## 優れた操作性

ツインマスト設計は加重を均等に分散し、持ちやすいハンドル形状がリフトの操作性を向上しています。

## 人間工学的なデザイン

Maxi Twinのツインマストは、さまざまな身長 of 介助者に適した操作しやすいハンドル形状です。



## 揺れ防止機能

揺れ防止機能は、移乗中に起こるスプレッダーバーの揺動を低減します。

## 電動DPS

電動ダイナミックポジショニングシステム(PDPS)は、患者の体位変換を最小限のリモコン操作で行え、体位変換の精度を向上します。

## スプレッダーバー

さまざまなサイズのスプレッダーバーからお選び頂けます。電動DPSを採用した4点スプレッダーバーは、多様なニーズの患者様に対応できるオプションです。

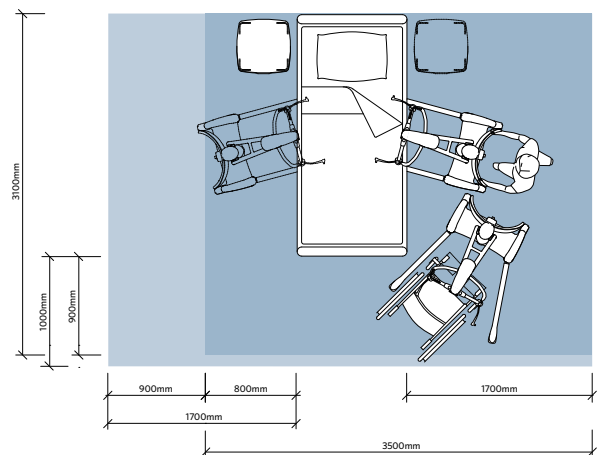
## 製品情報

最大安全耐荷重	182 kg
リフトの重量 (スプレッダーバーとバッテリーを含む)	58 kg
最大持ち上げ高さ	1460 mm
最小持ち上げ高さ	230 mm
持ち上げストローク長	1230 mm
保管時全高	1370 mm
閉脚時外寸 (幅)	755 mm
開脚時外寸 (幅)	1371 mm
閉脚時内寸 (幅)	630 mm
開脚時内寸 (幅)	1231 mm
床面から脚の頂部	115 mm
床面からシャーシ底部	31 mm
リフト全長	1298 mm
旋回径	1440 mm
リフトの保護等級	IP24
ハンドコントロールの保護等級	IPX7
バッテリー	24V, 2.5 Ah NiMH
バッテリー充電インジケーター	
緊急停止及びシステム故障時のオーバーライド機能	
自動安全停止機能 (下降時の障害物接触で作動)	
低摩擦キャスター (後方2輪はブレーキ付き)	

## アクセサリ

- スプレッダーバー
- スリングとFlites (使い捨てスリング)
- オプション: 電子体重計
- Arjo製洗浄剤

## スペース要件



- 青色のエリアは、ベッドの片側から床走行リフトを人間工学的に使用できる必要最低限の作業領域を示します。
- 水色のエリアは、ベッドの両側から患者、床走行リフト、介助者が容易にアクセスするために必要な拡張作業エリアを示します。

2019.11. Arjoが提供する機器および製品には、目的に合わせて設計された Arjo 設計部品のみを使用してください。当社ポリシーの1つは継続的な開発を掲げているため、予告なしにデザインや仕様を変更することがあります。® と ™ は、Arjo グループの企業に属する商標です。

Arjo AB • Hans Michelsensgatan 10 • 211 20 Malmö • Sweden • +46 10 335 4500  
アルジョ・ジャパン株式会社 〒105-0001 東京都港区虎ノ門三丁目7番8号 ランディック第2虎ノ門ビル9階 03-6435-6401

ArjoJPL.A00155.2.0.JP.JA PB-49.2207(C1)300tcp